



〒064-8540 札幌市中央区宮の森 2 条 16 丁目 10 番 1 号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667 (職員室直通)
 FAX 011-612-0980

先日のクリスマス・ミサには多くの方々にご来場くださり、共にクリスマスをお祝いすることができました。冬の寒さが一段と厳しくなってきました。引きつづき体調管理には十分留意して、充実した年末年始をお過ごしください。



1 月の予定



		行事	弁当
1	日	学校閉鎖期間 (~1月3日)	
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	成人の日	
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		
18	水	始業日 中2:(1限)LHR (2~4限)基礎学力テスト (5,6限)通常授業 中3以上:通常授業 母の会幹事会 課題研究ミーティング⑦	要
19	木		要
20	金	漢字検定(放課後)	要
21	土	サタデープログラム⑩ 第3回英検一次(校内)	
22	日		
23	月	地理コンテスト②(1限)	要
24	火	高3授業最終日 中2~高2 スキー学習 高3卒業研究提出締切 17:30(時間厳守)	※
25	水	梅干し弁当⑦ 高3卒業研究発表準備 職員会議(15:40~)	要
26	木	高1高2進研模試 高3卒業研究発表準備	要
27	金	高3卒業研究発表会(1~7限)	要
28	土	サタデープログラム⑩	
29	日		
30	月	高3卒業週間(~2月4日)	要
31	火		要

☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。

☆ 行事予定は暫定のもので、大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

Congratulations!!

- ◎ 第 12 回札幌大谷音楽コンクール 声楽部門
中学校の部 奨励賞 C3 都筑暖和
- ◎ 海の宝アカデミックコンテスト 2022 全国大会
おとひめ賞・マリンイノベーション特別賞 C3 都筑暖和
- ◎ 第 19 回北海道地区高校生中国語発表会
入門の部 優良賞 K1 奥谷亜壽紗
初級の部 優良賞 K2 白鳥愛華
- ◎ 第 24 回高校生小論文コンクール
優秀賞 K3GC 福本あめり

人間関係ミーティング

「絵本で人生に彩りを！」

11月30日(水)に、絵本専門士・絵本セラピストである森恵子様をお迎えし、お話を伺いました。絵本の読み聞かせや「私らしさ」をテーマにしたワークショップなどを通じ、絵本は子どものものだけではなく、経験がある大人の心にも寄り添い、人生に彩りを与えてくれるものだという事に改めて気づかされる貴重な時間となりました。



クリスマス・プラクティス

12月5日から15日までの間、クリスマス・プラクティスを実施しました。クリスマス・プラクティスは、イエス・キリストのご降誕をお祝いするために私たちの心の準備をする目的で行われます。朝礼前や休み時間に一人ひとりが沈黙を守るように心がけ、その成果として通学生はお米、寄宿生はカイロを持ち寄ります。集まったお米やカイロは、12月21日に「うえるかむはうす」(北1東6)にお届けします。

今月のこころのことば

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主がみ顔を向けてあなたを照らし、

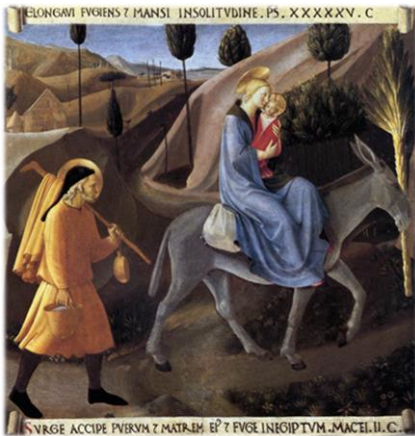
あなたに恵みを与えられるように。

主がみ顔をあなたに向けて、

あなたに平安を賜るように。」（民数記 6:24-26）

札幌聖心での2022年のクリスマスは、創立60年の感謝を込めてのカナモト・ホールでのミサでした。そして、今、その余韻を味わいながら、年末年始の休みを迎えました。クリスマスのタブローは、主の誕生を祝うために旅をしてきた占星術の学者たちが、幼子イエスに贈り物を捧げるところまでを表しました。

この博士たちから「王がお生まれになった」と聞いたヘロデ王は幼子を殺そうとしていたので、ヨセフとマリアはイエスを連れてエジプトに避難しました。人となった神の御子が難民になったわけです。いつ故郷に帰るかもわからずに。



【エジプトへの避難 ジョット作 13世紀】



【ウクライナ難民】

今の世界にも同じことが起きています。今年の大きな出来事の一つに、ロシアのウクライナの侵攻がありました。「2022年2月24日、たった一日で、すべてのウクライナの子どもたちは『戦争の子ども(戦争経験者)』となりました。彼らが再び、普通の子ども時代を過ごすのにどのくらいかかるでしょうか。〈カリタスウクライナのTwitter〉そしてたくさんの方々の難民として故郷を離れました。いつ帰れるかも知らずに。

生徒たちはクリスマスの前のプラクティスで、自分の心を整えながら、ホームレスの方々や、ウクライナの子供たちや、世界の難民の方々に思いを馳せながら支援の物資をあつめました。冬休みには家族とのあたたかい交わりを楽しみながら、こうした人々のことも忘れないでしょう。

ここに引用した聖句は、教会では新年の祈りとして使われます。お互いのために、神さまの祝福を願うものです。2023年の初めに、近くにいる人、遠くにいる人々、特に苦しい状況にある人々に神さまが恵と平和を与えてくださるよう祈ります。ご一緒にこの心で新年を迎えましょう。

〔修道院長 Sr.新庄美重子〕